

# 金沢動物園におけるミゾゴイ野生復帰訓練

公益財団法人 横浜市緑の協会

公益財団法人横浜市緑の協会は、市民・企業・各種団体等の寄付からなる基金の運用益を普及啓発事業や緑化推進事業、緑の街づくり事業等に活用し、都市緑化関連事業の推進を支援している団体です。また、市内3つの動物園、横浜山手西洋館、三ツ沢公園等の公園・施設の管理を行っています。

## 【活動背景】

ミゾゴイはIUCNレッドリストにおいて絶滅危惧種に指定されている鳥です。その数は近年減少傾向にあり、生息域内での保全が喫緊の課題とされています。

## 【活動目的】

本活動では、横浜市繁殖センターで飼育・繁殖したミゾゴイを金沢動物園に移し、野生復帰訓練を経たのち放鳥、さらにその後の追跡調査・環境調査を行うことで長期的なミゾゴイの保全に寄与することが目的でした。

## 【団体からのメッセージ】

この度は、当団体の活動をご支援いただきありがとうございました。生物多様性の保全が重要な課題となり、動物園においても域内保全と連携した取り組みが増えつつあります。しかし、急速な地球環境の変化により対応を必要とする種は増加することが予想されます。このような状況にあって、JAC環境動物保護財団の支援は保全活動の大きな後押しとなっています。各団体が連携し、豊かな自然を後世に繋いでいきたいと思います。



試験放鳥の瞬間



順化訓練中のミゾゴイ

## 【助成金の用途・活動結果】

当財団からの助成金は、ミゾゴイの馴化施設関連の備品・器具や調査に用いられる器具のための費用に充てていただきました。

放鳥後のモニタリングでは、野外で放鳥個体の約4か月以上の生存が確認されたことで、馴化訓練の妥当性が裏付けされました。

また、放鳥後の行動データ取得によって、今後の飼育繁殖の方針や放鳥時期など新たな課題が明確化され、継続的な保全活動とその研究のために有益な成果を残すことができました。